

森の館通信



ツチイナゴ

成虫(大人の姿)で、冬を越すことができるバッタの仲間です。

寒くなると、草のすきまでじっとして

いますが、天気の良い日には、草の先につきまわり、太陽のほうへ体を向けて、体を温めます。

館長のつぶやき

コナラがドングリを落とし葉っぱが茶色くなってくると、数枚の葉っぱに包まれた長楕円形の黄緑色の繭が見つかります。ヤママユの繭です。手に取ってよく観察してみると、大きな穴が開いて、成虫が出てしまった繭と、まだ穴が開いていない少し重たい繭が見つかります。

↓葉っぱに包まれたヤママユの繭



ヤママユは7月の中旬ごろに繭を作り蛹になると、およそ35日後、繭に穴をあけて成虫が出てきます。その時全ての蛹が羽化するわけではなく、およそ2割の蛹は成長を止め、約100日間の蛹の期間を経て秋の終わりごろに羽化してきます。成虫は交尾を済ませると卵を産んで命を全うし、卵で冬を越します。羽化の時期をずらすことで、天敵から逃れ、多様な遺伝子を獲得することができるのではないかとされています。(うっしー)

館長の昆虫のオモシロ話が聞ける



さかいせん「堺自然ふれあいの森・森の館」の館長がスタッフに見せてね!

今月のオススメイベント

11月5日(日)10:00~14:30のいつでも

「クラフト教室」

毎月、テーマに合わせて、小枝や木の葉を使って工作します。今月は「マツボックリを使った工作」です。

対象：どなたでも
参加費：50円/1作品
定員：なし
*当日、直接森の館へ

11月23日(木・祝) [1] 10:00~11:00 [2] 13:00~14:00

「キッスバル」による おいでよ!おはなしの森」

南図書館で読み聞かせをしている「キッスバル」さんによるおはなし会です。秋の森をテーマにしたおはなしの後、森へお散歩に出かけます。(雨天時はおはなしのみ)

対象：どなたでも
参加費：無料
定員：なし
*当日、直接森の館へ



もり ようす はっしんちゅう 森の様子を発信中! Facebookもチェックしてね!

堺自然ふれあいの森 Facebook 検索

落ち葉の下の

いきものみつけ!

普段何気なく歩いている森の園路。人がよく歩く場所は踏み固められていますが、園路脇など場所によっては年中落ち葉が積もっています。この落ち葉の下や、さらにその下…土の中には、実はとってもたくさんの生きものがくらしているのです。

今回は、そんな落ち葉の下にくらす生きものたちをご紹介します!

原寸
●
0.5~1cm

**【ダンゴムシや
ワラジムシの仲間】**
落ち葉や植物の根などを食べる

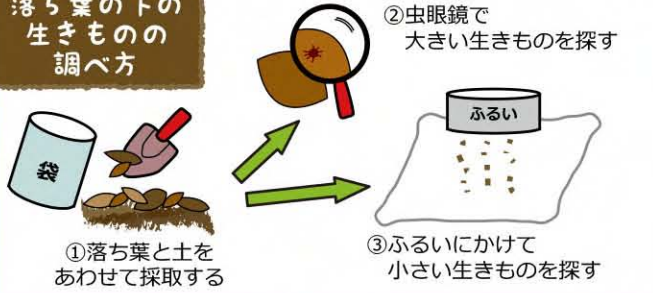


ほぼ原寸

【ヤスデの仲間】
落ち葉や朽木などを食べる。よく見間違われるムカデの仲間は肉食性。




落ち葉の下の生きもの調べ方



①落ち葉と土をあわせて採取する

②虫眼鏡で大きい生きものを探す

③ふるいにかけて小さい生きものを探す

原寸
●
2~3mm

【トビムシの仲間】
名前の通り、ピョンピョンとよく跳ね、落ち葉を食べる



原寸
●
1~2mm

【カニムシの仲間】
カニのようなハサミでトビムシなど小さな生きものを食べる



原寸
●
約3mm

【アカケタニ】
他のダニや昆虫の卵などを食べる




原寸
●
2~4mm

【アカイボトビムシの仲間】
落ち葉を食べる。白いものや発光するものもいる



動物や昆虫などの死体やフン、それに落ち葉や枯れ木など、森の中には様々な「ごみ」があります。その「ごみ」を分解し、栄養のある土づくりをしているのが、トビムシやヤスデ、ダンゴムシなど「分解者」と呼ばれる生きものたち。とっても小さいけれど、なくてはならない存在なのです。ぜひ目を凝らして、足元の「縁の下の力持ち」たちを観察してみてくださいね!



堺自然ふれあいの森

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740
TEL: 072-290-0800

開園時間: 9:00~17:30 (3~10月)
9:00~16:00 (11~2月)
休園日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

<バス>
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側②番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m
※日・祝は一部「堺公園墓地行き」もあり(「自然ふれあいの森前」下車すぐ)
<車> 駐車場無料
阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標に お越しください



***ウェブサイトへGO!**
イベント情報や最新の自然情報が閲覧できます。
堺自然ふれあいの森 検索



拡大図

